

平成 3 1 ~ 3 3 年度
地域内フィーダー系統確保維持計画

広島県三次市

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

三次市では、鉄道、高速バス、路線バス、三次市民バス、デマンドバス、三次市民タクシー、交通空白地有償運送といった多様な公共交通機関が運行されているが、これらの利用者は自家用自動車の普及や少子高齢化の進行に伴い、年々減少している。

このため、平成17年3月に「三次市生活交通体系実施計画」、平成19年3月に「三次市生活交通中期プラン」、平成22年3月に「三次市地域公共交通総合連携計画」を策定し、利用者の利便性の向上と効率的な運行の実現等をめざして施策を推進してきた。

また、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（平成19年法律第59号）に基づき、住民・利用者の代表、交通事業者、商工業や福祉等の関係団体、学識経験者、行政機関の担当者等が参加する「三次市地域公共交通会議」を設置し、施策の検討や関係機関の連携を進めてきた。

しかしながら三次市の公共交通をとりまく環境は、近年、厳しさを増しており、公共交通の利用者の減少が続くなど、そのあり方についても見直しが必要になった。

平成28年3月に「三次市地域公共交通網形成計画」を策定し、基本方針である“みんなで守りみんなで育てる地域の公共交通”をめざし、可能な限り市民ニーズに沿った、持続可能な公共交通網の構築を進めている。

市街地循環バス「くるるん」については、平成23年4月1日から、当時利用が低迷していた市街地コミュニティバス「みよしウェーブ号」の見直しにより運行している。実施にあたっては、地域住民、商工会議所、運行事業者及び学識経験者がメンバーとなる市街地循環バス活性化検討会議（三次市地域公共交通会議分科会）を設置し、協議・検討を重ね、半年間の実証運行を行った。

導入以降、利用者は減少傾向にあり、平成26年度には当初より1便当たり1人弱減少した。平成27年4月1日からは、市民ホールを経由することで、更なる利用向上を図っており、徐々にではあるが利用者の増加がみられ、市民に定着しつつあるといえる。

この路線は、三次駅前を経由しており、市周辺部からのJR線や路線バスを結節し、商業施設や医療機関が多く集まる市街地での買物・通院をサポートする機能を持ち合わせているため、この路線を確保・維持することは三次市の公共交通体系を機能させる上で重要な位置づけをなしている。さらに、本市の中心市街地には、高度な医療サービスを提供する「市立三次中央病院」や、大規模商業施設などが位置しており、周辺7町の高齢者の中心市街地への通院・買物需要は高くなっていることから、中心市街地に向けての幹線につなぐフィーダー交通は大きな役割を担っている。

公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」は、旧町村単位で運行している三次市民バスではカバーできない、JRや路線バスとの接続を可能にするため、地域資源であるふるさとのまちづくりを掲げたNPO自らが新しい地域の移動サービスを提供できる仕組みとして構築し、平成23年10月から運行を開始している。

三次市の北部地域である作木町では、町内及び隣接する布野町にもタクシーの営業所がなく利用する場合も、非常に時間がかかる状況にあり、また、距離も長く金銭的な負担が大きいことから、容易にタクシーを利用できない状況になっているため、地域間のサービスの不均衡解消をめざして運行している。平成30年4月1日からは、利用実態に即して運行回数を削減したり、地区ごとの巡回日を増やしたりするなど、運行計画の見直しを行い、徐々に利用者数は増加の兆しが見える。引き続き広く利用促進を図

るべく、老人施設や近隣の市町への乗り入れ等で連携を図っていく必要がある。

赤名線については、平成25年3月30日の松江道開通により、広島松江間、広島出雲間の高速バスが松江道に乗り換えとなり、島根県飯南町、三次市布野町域においては三次市への移動手段が減少した。そこで赤名線をそれまで運休していた土日にも運行するとともに、起終点を赤名から花栗口（頓原）まで延長、平成27年5月18日からは道の駅ゆめランド布野を経由するなど、乗継等も意識した変更を行ってきた。また、平成28年10月20日からは、より利用実態に応じた運行を行うために、花栗口赤名間を別系統化し、平成29年10月1日からは、利用実態に即して、花栗口赤名間を飯南町営バスへ移管する再編を行った。今後も、利用者ニーズに沿った利用促進を図る。

下高野線は、平成25年3月30日に開通した松江道への乗り換えにより、庄原市高野町や口和町域から三次市街地への速達性が格段に向上することとなった。沿線住民の利便性向上のため、平成26年4月からは4往復のうち3往復を松江道の口和インター、君田町、三次町を経由するルート（…①）、1往復については高野町から口和インター間を県道、口和インターから松江道経由するルート（…②）に経路を変更して運行していたが、利用状況を踏まえ、平成30年10月1日からルート②を廃止し、①に統合することとした。また、利用実態に即して、利用の少ない一部の便を減便するといった再編を行う。

作木線については、平成30年3月31日の運行をもって廃止となったJR三江線の代替交通として、平成30年4月1日から運行している。平成28年9月、JR西日本によりJR三江線の廃止が表明され、沿線6市町で構成する「三江線改良利用改良利用促進期成同盟会」では、鉄道存続の方向性を模索したが、結果的には、バス等による三江線の代替交通の確保に向けて全力で取り組むことを決定した。平成29年9月7日の第6回三江線沿線地域公共交通活性化協議会において、三江線沿線地域公共交通網形成計画案が承認され、同年12月21日の第7回三江線沿線地域公共交通活性化協議会では、三江線沿線地域公共交通再編実施計画案が承認された。これらの計画は、沿線地域住民の買物や通勤、通学、通院手段の確保を目的として策定され、JR三江線と同等の5往復のバスを運行し、三江線に代わる広域的な移動手段と利便性を確保することが大きなテーマとなっている。

川の駅三次線は、作木線と同様、JR三江線廃止に伴う代替交通として整備された。運行ルートは、沿線である作木町の地域住民などで構成する地域づくりネットワーク協議会や、住民説明会、意見交換会等で協議・検討を重ね、運行する5往復のうち、3往復は高校生の通学に配慮して香淀駅を経由しないことにより速達性を確保し、通院に適した時間帯の2往復は、香淀駅を経由するルートで運行することで、自ら移動手段を持たない高齢者の利便性の確保を図っている。また、土・日・祝日も同ダイヤで運行することで、JR三江線沿線地域から本市中心街地への移動や、乗り継ぎによる広域的な移動にも配慮している。

これら6つの路線は、島根県飯南町、邑南町、美郷町及び庄原市から本市中心市街地へ乗り入れる路線であり、広域圏から市立三次中央病院への通院や買物などの移動手段として日常生活上必要不可欠な路線である。また、三次駅での乗り継ぎにより、鉄道や高速バスを利用した広域的な移動が可能となる。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

市街地循環バス「くるるん」については、引き続き、沿線地域の住民自治組織、商業関係者、運行事業者等と連携を密にし、1便（1循環）あたりの平均利用者数を増加させる取組を進める。平成31年度から平成33年度の目標を7.5人以上とし、周辺部からの地域間交通を利用し、さらにこの路線に乗り換え、市街地での通院や買物などに利用されるよう、この路線の役割を高める。

この運行により、中心市街地における買い物などの外出支援、また三次駅や医療機関、公共施設等への移動支援が図られる。また、来春開校予定の県立中高一貫校への通学に配慮したダイヤ設定も視野に検討する。

項目	目標の基礎となる数値	目標数値
1便（循環）あたりの平均利用者	7.2人（平成29年4月～平成30年3月）	7.5人以上

公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」については、定期的な利用者の減少や主な目的地である医療機関の営業形態の変更等により、利用が低迷していた。平成29年4月～平成30年3月までの1年間の月平均利用者は26人と前年度に比べ減少していたため、平成30年4月から運行日数を増やすなど、再編を行い、平成30年4月及び5月の月平均利用者は44人と増加した。今後は、運行事業者や関係機関、行政などが連携し、新たな利用者の掘り起こしを行い、月平均利用者数の維持・増加をめざす。平成31年度から平成33年度の目標は、路線再編後の利用増を加味して36人以上とする。

この運行により、三次市中心部へ移動する際の接続向上が図られるとともに、外出機会の提供、医療機関等への移動支援が図られる。

項目	目標の基礎となる数値	目標数値
1月あたり利用者数	26人（平成29年4月～平成30年3月）	36人以上

赤名線、下高野線については、平成29年4月から平成30年3月における1便当たりの乗車人員を基礎とする。赤名線については当該期間中の1便当たりの乗車人員が4.0人であることから、平成31年度から平成33年度の目標を1便あたり4.2人以上とする。赤名線は前年の目標値を下回っているため、飯南町とも連携し利用促進に努める。また、下高野線については、**当該期間中の1便当たりの乗車人員が4.0人であることから、平成31年度から平成33年度の目標を1便あたり4.2人以上とする。**下高野線については、平成30年10月にシステムの再編を行うため、庄原市や運行事業者と連携しつつ、その周知に努める。

これらの運行により、三次市中心部への移動が便利になり、通勤・通学、通院、買い物等の利用者増が期待される。

【赤名線】

項目	目標の基礎となる数値	目標数値
1便あたり利用者数	4.0人（平成29年4月～平成30年3月）	4.2人以上

【下高野線】

項目	目標の基礎となる数値	目標数値
1便あたり利用者数	4.0人（平成29年4月～平成30年3月）	4.2人以上

作木線、川の駅三次線については、三江線廃止に伴う新設系統のため、モビリティ・マネジメントを実践し、沿線地域への周知を行うとともに、観光利用も視野に利用の定着を図る。まず、伊賀和志上を起点とする作木線①については、平成31年度から平成33年度の目標を1便あたり4.0人以上とする。

また、道の駅グリーンロード大和を起点とする作木線②については、平成31年度から平成33年度の目標を1便あたり3.0人以上とする。

また、川の駅三次線については、平成30～32年度の目標値を3.0人以上としていたが、運行開始から2か月間の1便当たりの平均乗車人員が1.8人であることから、平成31年度から平成33年度の目標を1便あたり2.0人以上とする。

これらの運行により、JR三江線沿線をはじめとする地域住民の買物や通勤、通学、通院手段を確保し、三江線に代わる広域的な移動手段の確保と利便性の向上が図られる。

【作木線①】

項目	目標数値
1便あたり利用者数	4.0人以上

【作木線②】

項目	目標数値
1便あたり利用者数	3.0人以上

【川の駅三次線】

項目	目標数値
1便あたり利用者数	2.0人以上

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

持続可能で地域の実情に適した地域内生活交通を運営するため、平成28年度に設置した「地域内生活交通検討会」において、利用実績に応じて利用者の意見の把握等を行い、利用促進策を検討する。

また、作木線①②及び川の駅三次線については、三江線沿線地域公共交通網形成計画事業として、下記事業を行う。

事業2-1 主要都市や都市間交通の拠点にアクセスする「広域連携交通」の活用

【実施主体：三次市・邑南町・美郷町・交通事業者】

○三江線沿線と主要都市との移動時間が短縮できるよう、広域連携交通と市町間交通・市町内交通のスムーズな乗換えが可能ダイヤ（持続時間：概ね30分以内）を検討する。

- ・三次駅において、JR（芸備線・福塩線）とのダイヤ調整を行う。
- ・三次駅において、長距離運行の路線バス（高速バス）とのダイヤ調整を行う。

事業4-4 誰にでもわかりやすい運行情報の提供

【実施主体：三次市・邑南町・美郷町・交通事業者】

○地域住民や地域外からの来訪者にもわかりやすく使えるよう、沿線市町のエリアごとに総合時刻表・バスマップを作成し、地域拠点等での配布や各市町ホームページでの発信を行う。

○地域別バスマップや時刻表の作成

○持ち歩きやすいポケット時刻表の作成

○広域の乗継案内（公共交通を利用したおでかけプラン）や沿線施設に関する情報掲載

○インターネットや広報誌を活用した情報発信

○利用者待ち時間の負担軽減に向けて、バスロケーションシステムや乗換案内アプリの活用や導入を検討する。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者																																								
<p>(表1) のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環バス「くるるん」は、利用が低迷していた市街地コミュニティバス「みよしウェブ号」の再編のため、備北交通(株)により運行している。[運行日：1/1, 1/2 を除く毎日] ・赤名線、下高野線については、以前より運行していた備北交通(株)により運行する。 運行日：赤名線： 1/1, 1/2 を除く毎日 下高野線： 1/1, 1/2 を除く毎日（但し月～土は3往復、日祝は2往復） ※12/30, 12/31, 1/3 は休日ダイヤ ・作木線は、以前より同路線を運行していた備北交通(株)により運行する。 運行日：作木線①【伊賀和志起点】1/1, 1/2 を除く毎日（但し平日は3往復、土日祝は1往復） ※土日祝、12/30, 12/31, 1/3 は休日ダイヤ 作木線②【GR 大和起点】1/1, 1/2 を除く毎日 ※土日祝、12/30, 12/31, 1/3 は休日ダイヤ ・川の駅三次線は、地域の事情に精通した(有)君田交通により運行する。 運行日：毎日 ・公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」は、地域の事情に精通し、よりよいサービスが提供できる地元のNPO法人「元気むらさくぎ」により運行している。 運行日：上地区 月・金曜日 中地区 木・金曜日 下地区 火・水曜 (祝日、12/29～1/3, 8/14～16 運休) 																																								
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地循環バス、赤名線、下高野線、作木線、川の駅三次線、公共交通空白地有償運送に係る費用は三次市が補助金として負担する。なお、市補助金は、総事業費から国の補助金を除いた額以下とする。 																																								
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称																																								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10%;">(1)</td><td style="width: 20%;">三次町循環</td><td style="width: 10%;">…</td><td style="width: 70%;">備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(2)</td><td>南畑敷町循環</td><td>…</td><td>備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(3)</td><td>赤名線</td><td>…</td><td>備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(4)</td><td>下高野線</td><td>…</td><td>備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(5)</td><td>作木線①</td><td>…</td><td>備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(6)</td><td>作木線②</td><td>…</td><td>備北交通(株)</td></tr> <tr><td>(7)</td><td>川の駅三次線</td><td>…</td><td>(有)君田交通</td></tr> <tr><td>(8)</td><td>作木町上地区</td><td>…</td><td>特定非営利活動法人元気むらさくぎ</td></tr> <tr><td>(9)</td><td>作木町中地区</td><td>…</td><td>特定非営利活動法人元気むらさくぎ</td></tr> <tr><td>(10)</td><td>作木町下地区</td><td>…</td><td>特定非営利活動法人元気むらさくぎ</td></tr> </table>	(1)	三次町循環	…	備北交通(株)	(2)	南畑敷町循環	…	備北交通(株)	(3)	赤名線	…	備北交通(株)	(4)	下高野線	…	備北交通(株)	(5)	作木線①	…	備北交通(株)	(6)	作木線②	…	備北交通(株)	(7)	川の駅三次線	…	(有)君田交通	(8)	作木町上地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ	(9)	作木町中地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ	(10)	作木町下地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ
(1)	三次町循環	…	備北交通(株)																																					
(2)	南畑敷町循環	…	備北交通(株)																																					
(3)	赤名線	…	備北交通(株)																																					
(4)	下高野線	…	備北交通(株)																																					
(5)	作木線①	…	備北交通(株)																																					
(6)	作木線②	…	備北交通(株)																																					
(7)	川の駅三次線	…	(有)君田交通																																					
(8)	作木町上地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ																																					
(9)	作木町中地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ																																					
(10)	作木町下地区	…	特定非営利活動法人元気むらさくぎ																																					
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法																																								
該当せず																																								
8. 別表1の補助対象事業の基準ニただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要																																								
該当せず																																								
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧																																								
該当せず																																								

10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
該当せず
11. 外客来訪促進計画との整合性
該当せず
12. 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要
「地域公共交通確保維持事業費補助金交付要綱「表5」添付」
13. 車両の取得に係る目的・必要性
該当せず
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
該当せず
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者
該当せず
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）
該当せず
17. 協議会の開催状況と主な議論
<p>平成20年9月30日に道路運送法の規定に基づき、「三次市地域公共交通会議」を設置、平成21年3月6日、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に沿い、法定協議会機能を付加した組織となった。</p> <p>交通会議設置後は、平成21年度以降、書面協議を含めて年間3～11回の会議、これまで48回を実施し、再編対象事業毎のワーキング会議等も適宜、実施している。具体的な開催状況及び主な協議内容は下記のとおり。</p> <p>○ <u>三次市地域公共交通会議開催状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ H27.06.29 平成28～30年度地域内フィーダー系統確保維持計画承認 ■ H27.07.10 幹事会において、三次市地域公共交通網形成計画策定支援業者選定 ■ H27.08.26 三次市地域公共交通網形成計画策定支援業者決定、計画策定に向けた調査方法等 ■ H27.10.30 三次市地域公共交通網形成計画に係るヒアリング調査の中間報告等 ■ H27.11.16 三次市の公共交通に係る現状分析、課題・今後の調査方針について等 ■ H27.12.09 三次市地域公共交通網形成計画に係るヒアリング調査結果中間報告①等 ■ H27.12.28 三次市地域公共交通網形成計画（骨子案）等 ■ H28.01.13 平成27年度地域内フィーダー系統確保維持改善事業の評価について等 ■ H28.02.03 三次市地域公共交通網形成計画（素案）等

- H28. 02. 17 三次市地域公共交通網形成計画に係るヒアリング調査結果中間報告②等
- H28. 03. 28 三次市地域公共交通網形成計画策定
- H28. 04. 25 三次市地域公共交通網形成計画実施スケジュール等について等
- H28. 06. 27 平成29～31年度地域内フィーダー系統確保維持計画承認
- H28. 08. 05 地域内生活交通検討会の設置について等
- H28. 10. 03 平成29～31年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更について承認
- H28. 12. 16 平成28年度地域内フィーダー系統確保維持改善事業の評価について等
- H29. 08. 29 平成30～32年度地域内フィーダー系統確保維持計画承認
- H29. 12. 08 三江線代替交通の整備について承認
- H30. 02. 21 平成30～32年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更について承認
- H30. 06. 22 平成31～33年度地域内フィーダー系統確保維持計画承認
- H30. 08. 22 平成31～33年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更について承認
(書面協議含む)



三次市地域公共交通会議

○ 市街地循環バス活性化検討会議開催状況

- H22. 06. 08 「導入計画（実証運行路線、スケジュール等）の協議・確認」
- H22. 09. 08 「路線愛称・車体デザイン、ルート修正の協議・確認」
- H23. 01. 26 「実証運行に係るアンケート・ヒアリング
再編効果調査結果の報告・協議」
「本格運行の決定」



市街地循環バス活性化検討会議

○ 作木町自家用有償旅客運送検討会議（ワーキング）開催状況

- H22. 07. 13 「NPO、作木町自治連合会、各地区連絡協議会との協議」
- H22. 09. 30 「ボランティア運転手候補者事業説明研修会 7名参加」
- H22. 10. 04 「NPO理事会事業説明会 理事長以下5名」
- H22. 10. 08 「過疎地有償運送先進地 倉吉市たかしろ地区視察」
- H22. 12. 06 「過疎地有償運送運転者認定講習受講 NPO10名」
- H23. 06. 08 「NPO理事長及び作木町自治連合会会長との最終調整（企画提案書案提示）」
- H30. 01. 24 「NPO、作木町自治連合会との協議」

○ 今後の三次市地域公共交通会議等の開催予定

- H30年度～32年度 年3～5回開催予定

18. 利用者等の意見の反映状況

市街地循環便「くるるん」については、平成27年4月1日より、市民ホールを経由するルートに変更を行っており、経路変更の効果を確認するため、平成27年9月26日～30日に利用者を対象としたアンケート調査を行った。

利用者は70歳代の女性が最も多く、通院や買物での利用が多くを占めた。満足度は7割程度と高めであるといえるが、ルート変更前と比較すると低い結果になった。可能な限り利用目的を反映したルート設定への調査や新ルートである市民ホールでのイベントに合わせた広報を行うなど、周知の徹底が必要であると考えられる。

また、作木町で導入した公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」については、平成24年2月に利用登録者を対象としたアンケート調査および運行事業者へのヒアリング調査を行った。この調査による満足度では、「満足」が57%、「不満」が14%となっている。「不満」の項目では、「予約方法」「運行時間」「運行曜日」などがあげられる。この調査結果を受け、最も要望の多かった予約受付時間の変更を行った。また運行開始後利用者がなかった往路①便を廃止し、効率化を図るとともに運行主体の負担軽減を図った。今後は、あらたな利用者の獲得策として、高齢者サロンや特別養護老人ホーム等との連携、近隣市町への経路拡大などがあげられる。

作木線及び川の駅三次線については、平成30年4月1日より、JR三江線廃止に伴う代替バスとして運行している。運行ルートの策定や運賃の設定については、三江線沿線である作木町の地域住民などで構成する地域づくりネットワーク協議会や、住民説明会、意見交換会等で協議・検討を重ね、通院や通学などに配慮したダイヤを設定して利便性の確保を図った。地域住民だけでなく、地域外からの来訪者にもわかりやすく使えるよう、沿線市町で連携し総合時刻表やバスマップを作成したほか、地域拠点等での時刻表の配布や各市町ホームページでの発信を行っており、今後も継続した情報発信を行う。

これらの事業の推進にあたっては、引き続き地域、運行事業者及び交通会議を含む関係団体が連携し、利用促進を推進することの確認がなされている。

(利用状況・評価の把握予定)

- 引き続き高齢者運転免許自主返納支援事業の利用者に対してアンケート調査を行い、当該路線等についての意見把握を行う。
- 平成28年度に設置した「地域内生活交通検討会」において、利用者の意見等の把握、現状分析を行い、地域性を反映した交通体系の構築を目指す。

19. 協議会メンバー構成

三次市地域公共交通会議委員名簿	
構成区分	委 員
(1) 三次市	三次市 副市長
	三次市地域振興部 部 長
(2) 一般旅客自動車運送事業者	備北交通株式会社 営業部長
	有限会社 君田交通 代表取締役
	三次みどりタクシー株式会社 代表取締役
(3) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	私鉄中国地方労働組合備北交通支部 書記長
(4) 住民又は利用者の代表	東河内町
	布野町
	三和町
	三次商工会議所 総務課長 三次広域商工会 事務局長 三次市社会福祉協議会 総務課長
(5) 国土交通省中国運輸局広島運輸局支局長又はその指名する者	中国運輸局広島運輸支局 首席運輸企画専門官
(6) 広島県地域政策局長又はその指名する者	広島県地域政策局地域力創造課 課 長
(7) 道路管理者	三次市建設部 部 長
(8) 広島県警三次警察署長又はその指名する者	広島県三次警察署 交通課長
(9) 学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	米子工業高等専門学校 教 授

向こう3年間メンバー等の変更予定なし。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内ファイダーシステム)

31年度

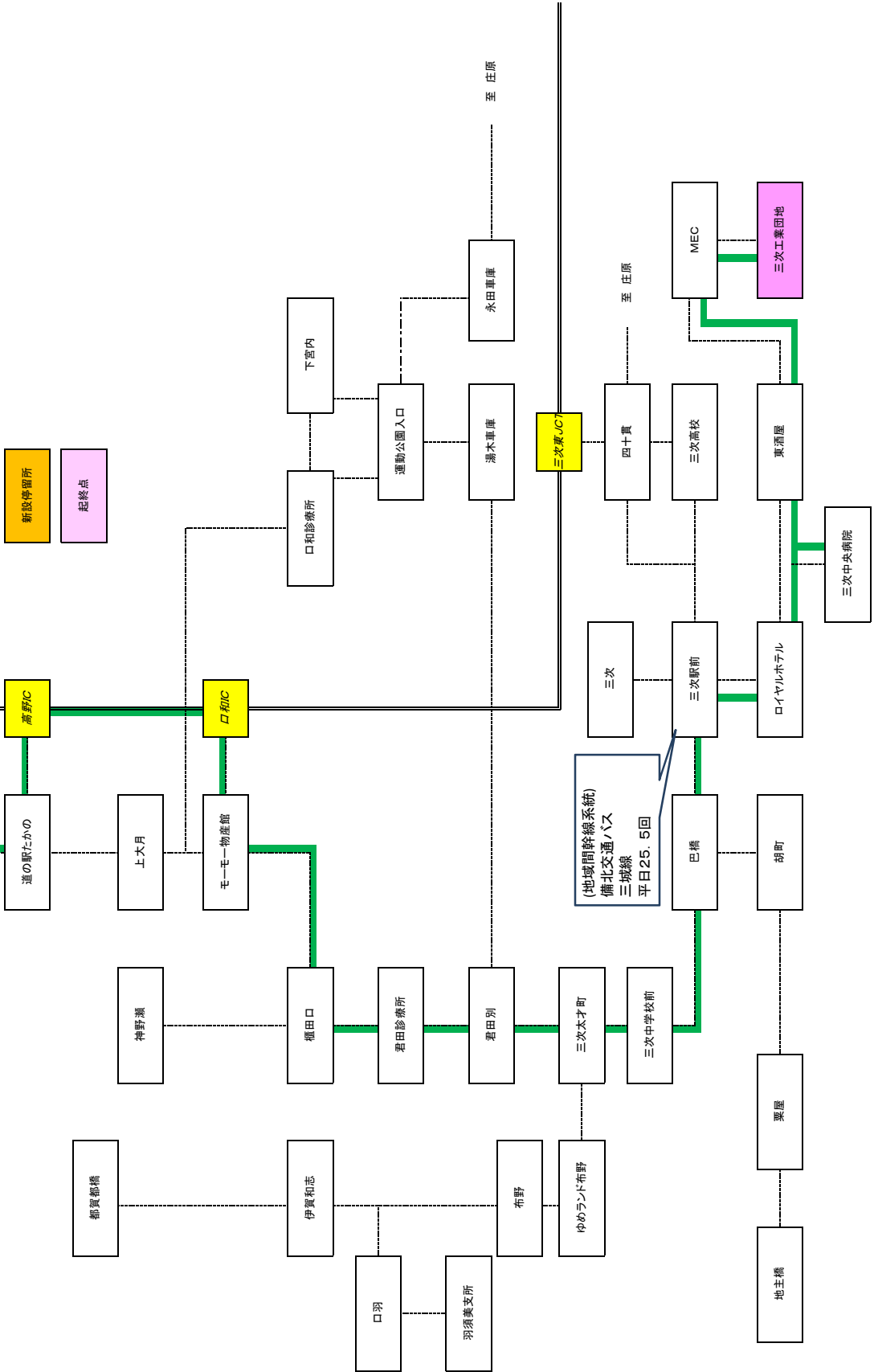
市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)		
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策
広島県 (三次市)	備北交通株式会社	(1) 三次町循環	三次	三次町循環	三次	往4.6km 循環	363日	2,904回		路線定期運行	①	③
		(2) 南畑敷町循環	三次	南畑敷町循環	三次	往10.2km 循環	363日	2,904回		路線定期運行	①	③
		(3) 赤名線	赤名	布野・三次駅	三次中央病院	往33.7km 復33.9km	363日	1,452回		路線定期運行	①	③
		(4) 下高野線	新市車庫	モーモ一物産館・君田	三次工業団地	往42.0km 復42.0km	363日	1,218回		路線定期運行	①	③
		(5) 作木線①	伊賀和志上	谷地・羽須美支所・布野・三次駅前・団地循環	三次工業団地	往41.0km 復41.2km	363日	855回	○	路線定期運行	①	
		(6) 作木線②	道の駅OR大和	伊賀和志・羽須美支所・布野・三次駅前・団地循環	三次中央病院	往48.1km 復48.3km	363日	726回		路線定期運行	①	③
		(7) 川の駅三次線	川の駅赤清(港別)	香淀	三次駅前	往23.9km 復23.9km	365日	1,825回		路線定期運行	①	③
		(8) 作木上地区		作木町			91日	92回		区域運行	②-1	③
		(9) 作木中地区		作木町			98日	143回		区域運行	②-1	③
		(10) 作木下地区		作木町			101日	73回		区域運行	②-1	③
広島県 (三次市)	有限会社君田交通											
広島県 (三次市)	NPO法人元氣むらさき											

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

運行系統図(下高野線) H30.10.1 現在

系統番号	系統名	運行回数	
		平日	土曜・日祝
1	新市車庫～モ一モ一物産館・君田別・三次駅前～三次工業団地	4.0	2.0
2			1.0
3			
4			
5			



下高野線 時刻表

【往路】平日

新市車庫	道の駅たかの	モ一モ一物産館	櫃田口	君田支所前	君田別	三次中学校前	巴橋	三次駅前	三次中央病院	三次工業団地
7:00	7:08	7:24	7:29	7:33	7:42	7:48	7:52	7:56	8:05	8:12
8:50	8:56	9:10	9:15	9:19	9:28	9:34	9:38	9:42	9:51	9:58
13:00	13:08	13:24	13:29	13:33	13:42	13:48	13:52	13:56	14:05	14:12
15:30	15:38	15:54	15:59	16:03	16:12	16:18	16:22	16:26	16:35	16:42

【往路】土曜日

新市車庫	道の駅たかの	モ一モ一物産館	櫃田口	君田支所前	君田別	三次中学校前	巴橋	三次駅前	三次中央病院	三次工業団地
7:00	7:08	7:24	7:29	7:33	7:42	7:48	7:52	7:56	8:05	8:12
15:30	15:38	15:54	15:59	16:03	16:12	16:18	16:22	16:26	16:35	16:42

【往路】日・祝日

新市車庫	道の駅たかの	モ一モ一物産館	櫃田口	君田支所前	君田別	三次中学校前	巴橋	三次駅前	三次中央病院	三次工業団地
7:00	7:08	7:22	7:29	7:33	7:42	7:48	7:52	7:56	8:05	8:12
13:00	13:08	13:22	13:29	13:33	13:42	13:48	13:52	13:56	14:05	14:12

【復路】平日

三次工業団地	三次中央病院	三次駅前	巴橋	三次中学校前	君田別	君田支所前	櫃田口	モ一モ一物産館	道の駅たかの	新市車庫
11:25	11:32	11:41	11:45	11:49	11:55	12:04	12:08	12:13	12:29	12:37
13:25	13:32	13:41	13:45	13:49	13:55	14:04	14:08	14:13	14:29	14:37
16:20	16:27	16:36	16:40	16:44	16:50	16:59	17:03	17:08	17:22	17:28
17:35	17:42	17:51	17:55	17:59	18:05	18:14	18:18	18:23	18:39	18:47

【復路】土曜日

三次工業団地	三次中央病院	三次駅前	巴橋	三次中学校前	君田別	君田支所前	櫃田口	モ一モ一物産館	道の駅たかの	新市車庫
13:25	13:32	13:41	13:45	13:49	13:55	14:04	14:08	14:13	14:29	14:37
17:35	17:42	17:51	17:55	17:59	18:05	18:14	18:18	18:23	18:39	18:47

【復路】日・祝日

三次工業団地	三次中央病院	三次駅前	巴橋	三次中学校前	君田別	君田支所前	櫃田口	モ一モ一物産館	道の駅たかの	新市車庫
11:25	11:32	11:41	11:45	11:49	11:55	12:04	12:08	12:13	12:29	12:37
17:35	17:42	17:51	17:55	17:59	18:05	18:14	18:18	18:23	18:39	18:47

※1月1日・2日は運休